

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和4年2月20日

事業所名 こぼんはうすさくら草加両新田教室

保護者等数(児童数) 16 回収数 14 割合 87.5%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な野外活動をして頂き、ありがとうございます。</li> <li>・お部屋は少しせまいイメージがありますが、2階もあり、外へ出るのでいいかと思えます。</li> <li>・1階のお部屋は少し狭いイメージがありますが、2階もあり、外へ出るのでいいかと思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童さんに合わせて部屋の模様替えを行い、児童さんの活動スペースを広く取れるよう工夫しています。</li> <li>また、密を防ぐよう配慮したり、自由時間には静と動の遊びの空間を工夫したりと安全にすごして頂く環境をつくっております。</li> <li>引き続き、感染対策に配慮したうえで、野外活動(散歩や公園など)でのびのびと活動できるようにして参ります。</li> </ul>	
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧な対応ありがとうございます。</li> <li>・WAWAWAで皆さんの専門性について教えて下さり、子供を預ける親としては、より安心・信頼が深まりました。</li> <li>・スタッフの方の数が多く、丁寧に関わってもらえて、とても嬉しいです。</li> <li>・沢山の先生がいて、目配りが届いている様で安心して預けられています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常に専門性を向上する為に、ご利用者様のご理解を得た上で、月に1日、四半期に1日の定期的な研修の時間を頂戴しております。</li> <li>・今年度から日本ダウン症協会にも加入し、研修の参加や会報誌を取り寄せております。また、コロナ禍ならではのオンライン研修も隙間時間に閲覧できるようにしております。</li> <li>・草加市障害児通所支援事業連絡協議会に加盟し、草加市より援助して頂いている研修の機会もあるので、引き続きスタッフの専門性向上に全力で努めて参ります。</li> </ul>	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数で遊ぶスペースもちょうど良いかと思えました。</li> <li>・『視覚で分かりやすく』を、たくさん教室に取り入れてもらえており助かります。</li> <li>・おおむしの下やホワイトボードの前など視覚的にも分かりやすい。</li> <li>・絵カードチップわかりやすいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所時の導線は色分けされ、児童の持ち物を片づける場所は視覚的に配慮された構造化を行っております。(最近ロッカーの名札を児童の写真入りに変更しました)</li> <li>・児童の行動の切り替えを支援するものとして一人一つのスケジュールボードを用意し、全員で行なうことで一体感を感じながら取り組んで頂いております。本日の予定をしっかりと目で確かめて、いまは何をする時間、何が終わった、次は何をするということを確認しております。</li> <li>・はらぺこおおむしのオブジェの下で集合! などと目印として活用している視覚的なものを多く取り入れております。</li> </ul>	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	13				1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレについての衛生面について、もう少し詳しく教えて下さい。</li> <li>・オゾン殺菌機の使用はさすが! です。素晴らしいですし、安心と安全に感謝です。</li> <li>・殺菌機での殺菌、換気安心できます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務用オゾン殺菌機で空間を清潔に、消毒液で毎日行って児童さんが触る場所を清潔に。カーベットの床は剥がす事ができる為、汚れてしまったら交換する事で清潔さを保っています。</li> <li>・出入口は常時換気できる網戸を新設しており、上部の窓は常時換気できる状態を維持しております。</li> <li>・トイレは壁やドアなどの手が触れる場所は定期的に念入りに消毒しています。排便後は、便の様子に応じて、都度消毒し感染対策をしています。使用済おむつは必ずビニール袋に入れて処分し、便座や床に汚れが見られたら、すぐに消毒液で拭き掃除をしています。</li> </ul>
	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14					<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外での食事等、問題ありません。</li> <li>・毎月異なるプログラムをして頂くことにより、見て、感じて、聞くことができていると感じました。</li> <li>・調理は子どもも興味津々だし、やりたがるので、ぜんぜん活動として取り入れて頂きたいです。野外の食事もおいしく思えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野外での食事は、今後は条件付きとはなりますが検討して参ります。</li> <li>・新型コロナ感染症対策下での調理は原則行わないという方向性ですが、個装されているものを盛り付け程度であれば実現可能と考えております。引き続き、検討して参ります。</li> </ul>
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13		1			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎毎、活動の説明で子供の様子がわかるのでいいです。</li> <li>・おたより「WAWAWA」、写真サービスとてもいいです。最近また大きな声をだしたり感情のコントロールが難しいようです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こぼんで出来る事を増やして、ご家族の負担軽減を行っています。今後はペアレントトレーニング等でもこぼんでの支援方法を共有する事により、より児童さんの成長に繋がると考えています。</li> <li>また、ご好評頂いております写真サービスとお便りは引き続き継続させていただきます。</li> </ul>

適切な支援の提供	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰宅時、お友達は何人いたの？と聞く必ず、2人というので何人くらいで活動したのか知りたいです。</li> <li>・いいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何人が気になっている方にはご利用人数をお伝え致します。他の児童さんと関わりがあったら、それも伝ええます。</li> <li>・支援計画に沿った支援が行えるように、朝礼、昼礼（平日のみ）、終礼で変更点をカバーし、月に4回の定例ミーティングも実施しております。</li> <li>・指導室に通所される児童のファイルを準備し、いつでも支援経過やスタッフが気になった点を記載する経過表が見れるようにすることで計画に沿った支援をさせて頂いております。</li> </ul>	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14			1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が楽しめるようなことばかりで、素晴らしいと思いました。</li> <li>・図書館や英会話は特に他の療育施設でやっている所は少ないと思うので貴重な経験をさせてもらいたいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフの特技を活かしたプログラムを行う事で、スタッフも児童さんと一緒に楽しめる工夫をしています。また社会経験の蓄積をコンセプトに、様々な場所に出掛けるようにしています。</li> <li>・コロナ禍で行先が固定されてきている点に関しては順次開拓していただけるように致します。</li> </ul>	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	3	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ以前はどのような交流をされていたのでしょうか。</li> <li>・こばんさんを始め、たくさんの人と出会い、触れ合う機会を増やし良い関係を築き上げていきたいと考えております。</li> <li>・自分の家の子に限っては、普段保育園でそれはできているので特別希望はないのですが、あっても別に大丈夫です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で他施設との直接の交流はできませんが、外出先と一緒にいった方とは、あいさつを交わしたり、一緒に遊んだりしています。</li> <li>・コロナ前は他の園や施設との交流を始める前のご挨拶で終わってしまったので、再開できると良いなと思います。</li> </ul>	
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14						
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	12	2					
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	9	3		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭の様子、ご家族様の困りごとなどを聞かせていただき、一緒に考えながら、共に成長していけたらと思います。小さな事でも、お声がけください。コロナ禍で機会が作れず申し訳ございませんが、今後はオンラインも含めて計画を立てて参ります。</li> </ul>	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話ししやすい雰囲気のある先生ばかりなので助かります。</li> <li>・とても親切で丁寧だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的には送迎の際に配慮させて頂いておりますが、定期的な面談等でも共通理解を得られるように善処してまいります。</li> </ul>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に面談を実施したり、定期的に相談員との連携も図っております。いまは児童が通所されている園や学校との連携も増やしております。</li> </ul>	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	1	3	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にいまのところ希望はないです。</li> <li>・たまにあっても楽しそうかと思えます。</li> <li>・個人的には親自身が精神疾患を持っているため、保護者会がないという点はとてもありがたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方々にも負担にならない程度でオンライン保護者会やイベントの様子の上映会等を検討していきます。</li> </ul>
保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい要望や相談もきちんと対応頂いています。</li> <li>・忘れ物があった時、わざわざ家まで届けて頂けるので助かります。ありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE公式アカウントを開設し、より相談や申し入れを行いやすい環境を整えました。</li> </ul>	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもお忙しい中、1日の様子を送迎時や連絡帳で伝えてくださり、ありがとうございます。</li> <li>・具体的な活動内容だけでなく、子どもの反応や様子も教えて下さり、その日のことがきちんとわかります。子どもとの会話にもつながって助かります。</li> <li>・じゅうぶんにされていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方に1日の様子をお伝えすると共に保護者の方からも気兼ねなく話して頂けるよう心掛けます。</li> </ul>	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の写真ととても楽しんでいます。</li> <li>・連絡帳の内容と照らし合わせながら、「あ、これのことだ〜♡」などと感じています。</li> <li>・じゅうぶんにされていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの更新頻度を増やし、活動内容がよりわかりやすくなるように致します。</li> </ul>	
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14						
	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもお忙しい中、細かくお便りや連絡帳を書いてくださりましてありがとうございます。</li> <li>・とても、しっかりしてると思えます。</li> <li>・対策もお知らせも。誠実さを感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言時など、不定期的ではありますが、我々が行なっている感染症対策も、引き続きご案内させて頂ければと考えております。</li> <li>・看護師を招いて、感染症対策を実施予定です。その他、防犯対策も研修を検討させて頂きます。</li> </ul>	
非常時									

等の対応	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じ、家ではやれないことをして頂き、ありがとうございます。</li> <li>・消防署の協力の訓練とは、どのようなものかになります！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練はより細かい設定や、スタッフが本番を想定した動きを引き続き行ってまいります。</li> <li>・コロナ前は消防署でDVD鑑賞、消防車や救急車の設備をみせて頂いたりと、起震車で地震体験をおこないました。</li> <li>・起震装置のある施設への訪問実績はありますが、コロナウイルスの感染状況をみながら実施して参ります。</li> </ul>
	22 子どもは通所を楽しみにしているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・こばんさんに通い始めて言葉はもちろろん、出来る事も増え大好きな友達や先生とも出会う、毎日通いたって言うてくれる様になりありがとうございます。</li> <li>・通所開始以来、ずーっと楽しく通っていて、こばんさんに巡り合えて本当に良かったなあと思っています。</li> <li>・預ける時間を延長しましたが、とても楽しんでいて、前日の夜になると「あしたはこぼんだ〜！」と大喜びです。ありがとうございます！</li> <li>・まだ出来事など話してませんが、毎回楽しんで帰ってきます。刺激を受けている様子です。</li> <li>・今日こぼんはうすさん行くよと言うと、とても喜びます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も楽しく通っていただけるようにプログラム内容を工夫し、室内・屋外活動のバランスよく活動していきます。</li> </ul>
満足度	23 事業所の支援に満足しているか	14				<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な公園に連れて行ってもらい、日々体を動かしてもらっていることも、とてもありがたいです。</li> <li>・図書館ではルールやマナー、利用法を学び、本に親しむチャンスを頂き、英会話には本当にめったにできないネイティブの先生との楽しい交流ができて、大々満足です。</li> <li>・おりがみやおえかき、制作では子どもの興味を引き出ししてもらっていると日々感じてます！</li> <li>・コロナが落ち着いたら、夏場は簡易的にでも水遊びや氷を使ってあそんだりなど取り入れてもらえたら、より嬉しいです。(プールまでやらなくても)</li> <li>・調理も期待してます！</li> <li>・こばんさんの活動は、やらせてみたいこと、やってほしいことの両方がたくさん取り入れられていて親としても嬉しいです。</li> <li>・毎回、色々な体験、経験させて頂きまして、とても充実した日を過ごさせて頂きました。今年もどうぞ宜しくお願い致します。</li> <li>・いつも温かい送迎ありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により衛生面で取り組んでいない活動もたくさんありますが、どのようにしたら実現できるか、あったらいいなと思うプログラム等、ご家族のご意見に合った支援も提案させて頂きます。</li> <li>・1年の集大成として取り組んでいる制作のバインダーに挟む作品は集団プログラムやレクに取り入れて増やしていきます。</li> <li>・季節ごとのイベントや、同じ公園でも遊び方を変えるなどして、より満足して頂ける活動にして参ります。</li> </ul>

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4年2月20日

事業所名 こばんはうすさくら草加面新田教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の安全や活動の幅を広げる為に、物の配置や動線の見直しを定期的に行っている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染への配慮から食事時のスタッフの配置を最小限にしたり、密を防ぐ配慮をしている。また、過剰支援を防ぐよう活動や人数に合わせて柔軟に配置している。</li> <li>・着席して遊べるゾーンをつくることで自由遊びの幅を広げた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所される児童さんの人数や特性にあわせ、適宜部屋の模様替えを行い、児童さんが安全で快適に過ごせる環境を整えます。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団療育に必要な児童指導員を配置できている。</li> <li>・スタッフが多すぎる場合には、研修やプログラム活動の準備等に時間をあてることで適切な職員数で集団を纏めるように工夫している。</li> <li>・コロナへの配慮から食事時の配置を最小限にしたり、密を防ぐ配慮をしている。また、過剰支援を防ぐよう活動や人数に合わせて柔軟に配置している。</li> <li>・公園等、必要に応じて人員の確保をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体把握、誘導、見守り等役割を決められるようにプログラム担当が流れを可視化するように仕組みを変えております。</li> <li>・専門的知識が十分ということは無いので、各自が向上していけるように研修や隔週の1on1ミーティングは継続しておこなってまいります。</li> <li>・引き続き、専門知識のある機関や園、相談員様との連携もとりながら支援してまいります。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・棚や靴箱の高さや食事の席など、特性や能力に合わせた配置をしている。また、危険が予測出来る場所にはグッズを活用して、けがや転倒に備えている。</li> <li>・入室から検温までの導線を可視化し、わかりやすくしている。またロッカーや下駄箱の名札を顔写真入りものに変更した。</li> <li>・「椅子に座る」「見通しをつける」時には絵を使う等、情報の可視化しており、はらべこあおむしのオブジェで視覚的にもわかりやすく楽しく過ごせる工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の理解や発語に課題がある児童さんには、絵チップを活用する等、支援方法を工夫していきます。</li> <li>・室内に限らず出かける公園の絵カードチップの試作をして、実践に導入してまいります。</li> <li>・出入口の段差を考慮し、安全に出入りできるように支援して参ります。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数人で清掃や消毒をしたり、オゾン消毒を行うことで、安全点検も兼ねた徹底した衛生管理をしている。</li> <li>・集中して遊べるようにテーブルを用意。玩具箱の位置を移動し、空間を広く使えるように環境整備した。</li> <li>・移動する時、どこへ行くべきかを、目印を定めて動きやすくする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの活動の場所をゾーン化(可視化)することで、お子様自身の行動や役割の実施に繋がれるようサポートしてまいります。</li> </ul>
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々気づきがあったり課題だと感じることも、月4回の定例会議の中で話す機会を用意している。また、日々の終礼で個々の気づきやご家庭からの情報共有も行っている。</li> <li>・時間の制約があるなかで、プログラム担当が予め、プログラムも含めた1日の流れを事前に明文化するように工夫したことで全員がPDCAサイクルに参画している。</li> <li>・集団プログラムのプログラム担当が草案を3日前にスタッフに共有することでPDCAサイクルを実現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、追加されていく課題や気づきのシートを社内会議で活用している。時間の都合でカバーできなかったものをどのようにカバーするかは要検討。</li> </ul>
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭から頂いているご意見やご要望を共有し、思いを受け止めながら出来る限り支援に反映させている</li> <li>・評価表の実施と共に、普段から保護者の声をスタッフ間で共有できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援計画やモニタリングシート、面談記録等が含まれる個人ファイルを確認してから支援して参ります。</li> </ul>
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、ホームページに掲載し、教室内に掲示することでスタッフや見学された方にも見て頂けるように工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のお便りとあわせて同封するように工夫する。</li> </ul>
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア募集をしている</li> <li>・相談員による現地モニタリングを受け入れている。</li> <li>・児童が併用されている発達支援センター等の施設との連携やサービス担当者会議での意見交換を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや本部の方から意見を頂いているが、まだ足りていない。コロナ情勢に配慮しながら第三者からの目線、意見を積極的に取り入れて行く。</li> </ul>

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に合わせた研修を受講したり、報告書を共有している</li> <li>・オンライン研修に参加したり、動画で共有する等、研修参加の機会は設けられている。また四半期に一度全体研修を実施し始めた。</li> <li>・オンラインでの参加など、職員が向上できるよう研修の機会が設けられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・療育にとって重要な歩行に関する研修を改めて実施し、スタッフ内で共有したうえで、実践に繋がり参ります。</li> </ul>
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢的に自身での訴えが難しいため、より丁寧にご家庭との情報共有をしている。</li> <li>・面談を行い保護者のニーズを聞き出し、また毎月のカンファレンスでアセスメントの分析を行う。二つを合わせた支援計画を作成している。</li> <li>・日々、気がついたことを記録に残し職員間でも共有を行っている。</li> </ul>	
	11	子どもの適応行動の状況を因るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部研修で用いられているツールを使用してアセスメントを取り、支援計画に活かしている。</li> </ul>	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数人で確認しながら適切な設定が出来ているかを検討して、項目や内容を決定している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設定された文言以外の要素にも配慮しながら支援するように心がけていく</li> <li>・適切に設定されているが、「家族支援」や「地域支援」の部分に関してはまだ不十分であると感じる。まずは「家族支援」に目を向けた内容設定も盛り込んでいけるように検討する。</li> </ul>
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入室される児童の個別ファイルを児童指導室に設置し、支援経過記録の背表紙に要約した内容を印刷し添付したことで計画にあった支援が行えるように工夫している。</li> <li>・プログラム担当者が事前に当日のなぐれを資料に纏めて、事前に準備することで、現場で支援計画に沿った支援に集中できるように効率化していく工夫が取られた。</li> <li>・送迎の際に児童さんの様子を確認している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の課題と集団への配慮のバランスを調整していく</li> <li>・保護者の方に一日の様子を話す際、こちらから伝えるだけでなく、保護者の方からも情報を頂けるように配慮していく。</li> </ul>
適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム案を作成し、複数で共有・確認・見直しをしやすいシステムにしている</li> <li>・当日のプログラム担当を中心に、チームで内容を考えられるようになってきた。</li> <li>・職員で情報共有できるよう意見交換を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去のプログラム内容の実施経過や反省点を踏まえ、より適切な支援になるように立案・実施していく</li> <li>・チームで確認しあえるシステムになったので密度の濃いものにしていく</li> </ul>
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週毎のバランスや曜日毎の児童さんのニーズに合うように、また活動の種類が偏らないように工夫している</li> <li>・スタッフの得意分野をプログラムに組み込み、発展しやすいようにしている。また随時新しいプログラムを組み込むようにしている。</li> <li>・職員で、こんなプログラムを取り入れたらどうかと、児童さんの様子を見て案をだしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童さんやご家庭のニーズに、より合わせたプログラムを目指してお聞き取りをしていく。</li> <li>・他の事業所の内容等、様々な場所からヒントを得て、更に児童さんに楽しんで頂けるプログラムを組み込んでいく。</li> </ul>
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家庭と相談させていただきながら、手先課題やお約束の復唱等、集団と個別のどちらにも配慮した計画を作成実施している。</li> <li>・集団活動を中心に行っているが、保護者のニーズを組み込み、適宜個別活動も支援計画に組み込んでいる。（体幹を鍛える。手先の強化等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが個別活動の計画に対応できるように、活動案が一目でわかるツールを用意する。</li> <li>・個々の特性に配慮しつつ、楽しく集団活動に参加できるような支援計画を作成して参ります。</li> </ul>
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼やプログラム案を活用。当日の児童さんに合わせて柔軟な対応が出来るようにスタッフ間で情報を共有している。</li> <li>・当日のプログラム担当が中心となり、朝礼時・送迎時間を利用して打ち合わせ、役割分担の確認を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援開始前の口頭だと伝わらない事が多いとの声もあった為、事前にプログラム案を作成することで支援のねらいや役割分担についても事前確認できるようになった。</li> </ul>
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼礼や終礼でプログラム案のねらいや配慮、実施状況が適切であったか、また改善内容を意見交換することで次に活かせるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム案の内容が児童さんの姿にあった支援になっていたかを振り返り、次の支援に繋げていく。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ファイルに経過表を入れ、記録を蓄積できるような環境にしている。</li> <li>・プログラム案に実際の所要時間や結果、改善点を記録している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経過表の保管の流れを変更し、いつでも記入できるような環境を整える。</li> </ul>

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の達成具合や適正に応じて、更新予定月まで待たずに前倒しの見直しの提案やご相談をさせて頂いている</li> <li>半年に一度カンファレンス内でモニタリングを行い、計画見直しについての検討を行っている。</li> <li>モニタリングシートを共有し、支援改善について皆で考えている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用開始間もない児童さんに関しては、モニタリング期間を短くして計画内容の見直しをこまめに入れていく</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>スタッフのアセスメント情報を吸い上げた管理者・児発管が会議に参加している。</li> </ul>	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>出来ている関係先もある。</li> <li>相談支援員を中心に連携や情報共有を適宜行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まだ関係が深くない事業所や支援員さんとも、積極的に交流できるように努める</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で医療的ケアが必要な児童はないが、研修の案内がでてきたので、今後は検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、医療的ケア児も受け入れられるように必要な人材や研修を取り入れていく</li> </ul>
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点で医療的ケアが必要な児童はないが、研修の案内がでてきたので、今後は検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、医療的ケア児も受け入れられるように必要な人材や研修を取り入れていく</li> </ul>
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>既に交流がある支援員さんや施設からは、情報を頂きながら計画の立案や支援に活かしている</li> <li>保護者や相談員経由で情報共有や相互理解を図り、放課後等デイサービスの児童との活動を取り入れた移行支援を実施している。</li> <li>児童の幼稚園での様子を共有したり、当教室の見学等も受け入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流のない施設もまだ多いので、積極的に連絡を取り情報共有に努めます</li> <li>幼保との連携や情報共有に関してはあまり行っていない。保護者を通して幼保との連携が取れるように体制を整えていく必要有。</li> <li>コロナ禍やスケジュール的に難しい部分もあるが支援の統一化を図っていく。</li> </ul>
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談員を通じて、支援内容等の情報共有と相互理解が取れているご家庭もある。</li> <li>適宜、小学校の先生との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移行支援として、小学校や特別支援学校との間の情報共有は未だ少ないので、増やしていく必要がある。</li> <li>相談員がいないご家庭に関してはペアレントトレーニングも含めて取り入れていく必要がある。</li> </ul>
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に児童発達支援センターの相談員と連携をとることで、必要なタイミングで適宜、助言を頂くことができている。</li> <li>市の連合会に加盟し、定期的に参加されている研修に参加している。</li> <li>Zoomを使ってオンライン形式で研修をおこなっている。</li> </ul>	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童館や図書館といった公的な施設を活用して交流する機会がある</li> </ul>	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>草加市障害児通所支援事業連絡協議会に加盟し、各種会議や研修に参加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの感染が落ちついたら、地域との交流が図れるように努める。</li> </ul>
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳の記載等から頂く保護者の情報を活用しています。</li> <li>送迎時に保護者の方へ様子を伝えたり、コミュニケーションツールを利用して、保護者とは常に連絡を取りやすい環境整備を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人ファイルの経過表へ積極的に書き込みをする事や、毎日確認して支援にあたる事が徹底していく。</li> </ul>
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部の保護者に対してはペアレント・トレーニングに近い取り組みを行っている。</li> <li>保護者へ市区町村から案内されたペアレント・トレーニングの案内を送付している。</li> <li>面談や送迎時にご家庭の様子を伺い、対応方法について提案という形で伝えさせて頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアレントトレーニングについてスタッフが理解を深めていく。</li> </ul>
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に説明。毎月の支払いの際に明細書もお渡しする等、情報共有されている。</li> <li>運営規定を朝礼で読み上げている為、スタッフに共有がされており、よく話にあがる。</li> <li>ご契約時に契約書と重要事項説明書の説明の中でお伝えしている。</li> </ul>	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9		・事前に保護者からある程度の情報を頂き、カンファレンスの内容と照らし合わせて計画を作成し、面談の際に最終的に決まった内容をお話しする事で同意を頂いている。	・保護者の思いを大切に支援計画に沿った支援をできるようにする。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・面談や送迎時にご家庭の様子を伺い、対応方法について提案という形でお伝えさせて頂いている。 ケースによっては、支援員さんや他施設にも情報共有する。 ・送迎時に頂いた判断の難しい内容に関しては、管理者から改めて連絡を入れる等の対応を取っている。気軽に相談できるようコミュニケーションツールを利用して、保護者とは常に連絡を取りやすい環境整備を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		・コロナ禍において密をさけたい保護者も多い為、定期的にアンケートで保護者会の必要性を確認している。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8		・相談や申し入れに対しては管理者・児発管に報告・連絡の上、管理者が対応する形を取っている。対応が遅れないよう報告・連絡しやすい環境整備を行っている。	・送迎時などにご相談頂いた内容に関しては、個人の意見に偏らないように配慮して参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		・月に一度写真入りのお便りを作成、内容を見て頂いている。また活動時に写真撮影を行い、写真を閲覧・購入できるシステムを導入している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	10		・ハード面では鍵付きの書庫やシュレッダーを使用し、万が一の事故の為に保安カメラ等の設置もしている。ソフト面ではBOP対策も兼ねてビジネス向けのLINEの活用や業務で使用される電子データはすべてクラウド保存している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10		・個々の特性に配慮した分かりやすい環境を整えたり、漢字の理解が難しいご家庭にはひらがなでお伝えする等、ニーズに合わせた対応をしている。 ・長期化するコロナ禍で生活様式の変化にあわせて、保護者との時間を気にせず情報伝達できるLINE公式アカウントを使用して連絡を取り合っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	6	・草加市障害児通所支援事業連絡協議会に加盟し、各種会議や研修に参加。ホームページやブログ等で対外的に開かれた事業運営している。	・コロナが落ち着き次第、地域交流の一環としてお祭りの開催等の企画を検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	4	・マニュアルの策定、緊急時の避難場所は保護者に周知を行っている。	・教室にあった内容に更新することで、さらなる安全・安心につなげていきたい ・防災リュックの中身、避難誘導の方法の再検討。 ・被災時はできているが感染症・不審者対策はできていない。対応としてスタッフの共通理解をしていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10		・様々な場面を想定して、児童さんも含めて月に一度実施している。 ・災害時に汎用できるとして、ラグの上に集合して座る習慣を取り入れている。	・引き続き、気づきや反省を活かし、具体的な対応策を考え実施していく ・感染対策の訓練の実施 ・防災リュックの中身や備蓄品、避難誘導の方法の定期的なチェックと改善をしていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	1	・利用開始の際のアセスメントで情報収集を行い、面談の度にアップデートがあるか確認を取っている。 ・アレルギーに限りませんが服薬介助に関する依頼書を必要に応じてご記入頂いております。	・全員が業務前に個人ファイルに目を通し、変更点等があった場合には周知、対応できるようにする
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	・アレルギー対応も全スタッフが確認し、実行している。 ・アレルギーに限りませんが服薬介助に関する依頼書を必要に応じてご記入頂いております。 ・食品庫にはアレルギーのある児童の情報を記載しております。	・契約時のアセスメントにおいて確認してはいるが、定期的な更新が必要と現在は面談毎に再確認しております。

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10		<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋終礼時に毎日ヒヤリハットを作成している。また解決策の話し合いを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような事例が繰り返されている事がある。常に安全を意識した支援が行えるよう声をかけ合う必要がある。</li> </ul>
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容を基に、個別対応にならないような配慮を心掛け、声をかけ合っている。</li> <li>・一年に一度、全社員を集めて虐待防止研修を行っている。フィードバックの為、参加者全員が研修報告書を作成している。</li> </ul>	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に過ごしていただくための配慮として、具体事例をご家庭と共有しながら、必要に応じて記載している。</li> <li>・飛び出し等で危険回避の為に身体拘束が必要であった場合でも、送迎時に保護者に報告している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら訴えが出来ない児童もいるため、職員間での確認を徹底する。</li> <li>・身体拘束が必要な場面についてスタッフ間で意思統一を図っていく。</li> </ul>